

<海洋生物飼育日誌>

2023年6月19日9時

天気 晴

水温 17.5℃

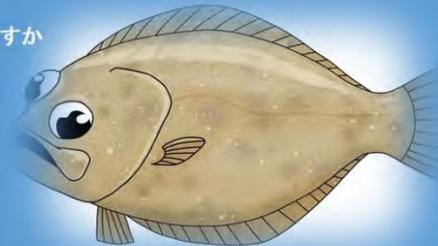
飼育中のヒラメ可食部に含まれるトリチウム量を一般食品と同じ表記にすると約1,000ベクレル/kg(wet)です。一方、食品の放射性物質の基準はセシウム137で設定されており、100ベクレル/kgです。セシウムの人体への影響は同量のトリチウムの300~700倍です。(山)

<厚生労働省資料より>

○食品に含まれる放射性物質の基準値はいくつですか

放射性セシウムの基準値【2012年4月から】

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品 牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル



○食品の基準はセシウムだけですか

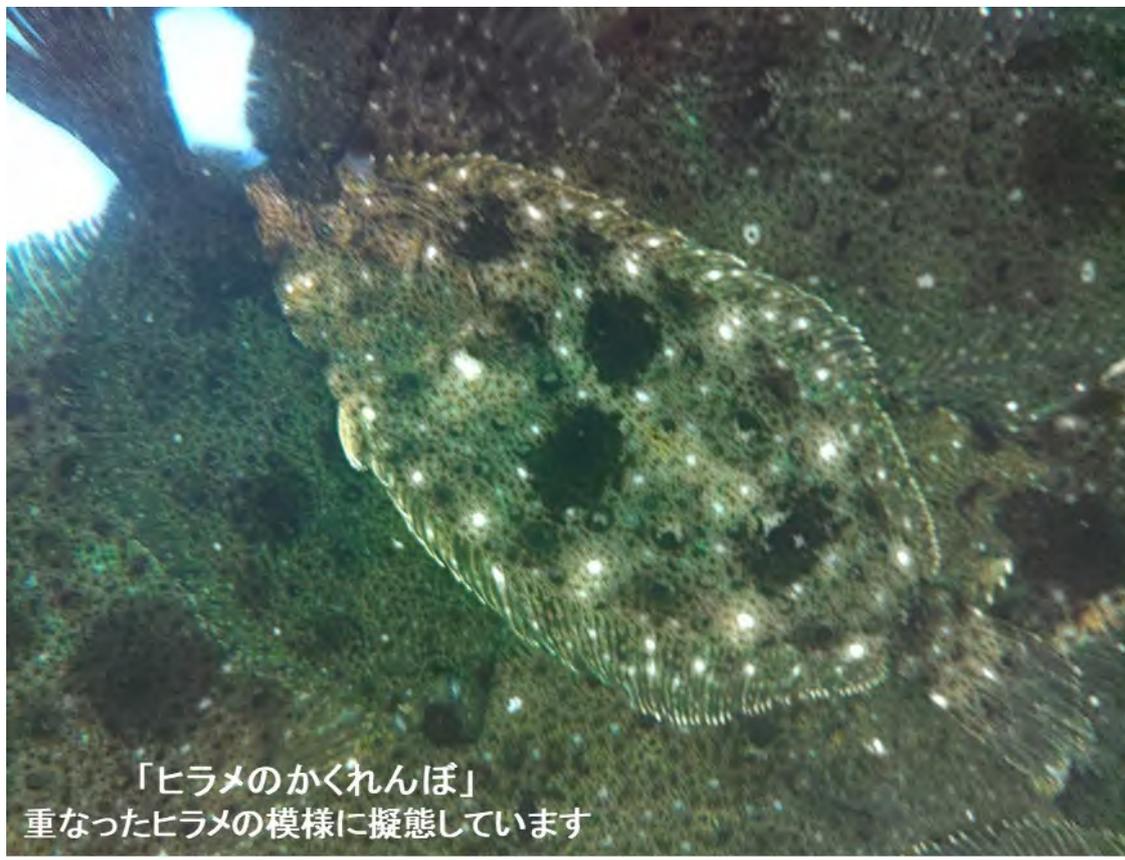
セシウム以外の影響も考慮してセシウムで設定しています。

基準値を設定する際、セシウムだけでなく、事故で放出された放射性物質のうち、ストロンチウム90など、半減期1年以上のものも影響を全て考慮されています。

具体的には、セシウムからの影響が大半であり、セシウム以外は測定にきわめて時間がかかるので、ほかの放射性物質の影響を計算に含めたうえで、セシウムを指標として用いられています。

○トリチウムについて基準値は定められていないのですか

日本では一般環境における濃度限度を1リットルあたり60,000ベクレルとしています。世界保健機関(WHO)では飲料水の水質ガイドラインにおいて1リットルあたり10,000ベクレルをガイダンスレベルとして示しています。



「ヒラメのかくれんぼ」  
重なったヒラメの模様に擬態しています